

2014年9月29日

お取引様 各位

ヒロセ株式会社
補強土事業本部本部長 山田 直樹

部署名称変更について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、さらなる地盤技術に対する研鑽とサービスの拡充と共に事業発展を期すため、メンテナンス元年と称される新時代に相応しい名称として、来る10月1日より補強土事業本部営業統括部環境工事部より、補強土事業本部営業統括部ジオテクニカル事業部と変更致すことになりました。

当社はテールアルメ工法を1974年に導入以降、補強土工法のパイオニアとして、盛土補強土分野にとどまらず地山補強土分野にも事業を拡げてまいりました。補強土事業本部営業統括部環境工事部は、地山補強土分野の地盤技術においてEPルートパイル工法の導入を行い、1980年に展望台の支持力補強工法として採用されたのを皮切りに、様々な構造物補強や法面補強として用いられ、実績は1,400件超となりました。また、ダグシム工法の開発を行い1988年には切土法面補強工法として採用され、実績は800件を超えています。ダグシム工法を改良したスーパーダグシム工法は、国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）において、事後評価済み技術として登録されています。

（CB-100028-V）

2000年には、高耐力マイクロパイル工法を導入し、耐震補強分野にも事業を拡げてまいりました。現在では橋脚、配水塔、ロックシェッドなどの耐震補強や支持力補強として採用されています。各工法による耐震・構造物補強、法面補強など、維持メンテナンスと防災・減災対応を基軸とした事業の多角化を進め、今日に至りました。このように事業を伸展出来たことは、ひとえに皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。今後とも、引続き倍旧のご支援とご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。尚、所在地、連絡先に変更はございません。

敬 具